

令和5年度 山内三又地区 田植えボランティア

令和5年5月27日（土）。今年度第1弾の横手城南高校アクティブボランティア「山内三又地区田植えボランティア」が開催された。



今年は、左の写真のような木枠を使って田んぼに稲を植える位置に印をつけていく作業を、予め山内三又営農生産組合の方々が行ってきていた。「50年ぶりに使った」と新しく組合長になられた高橋さんが教えてくれた。「使ったことがあるのは俺だけだ」と言い、一緒にいた二人の方々は初めての体験だったらしい。

今回参加したのは、2年生が2人と3年生が10人。このうち2度目の参加が9人だったので、かなり作業ははかどった。実際、用意されていた田んぼでの作業があっさり終わり、ちょっと営農生産組合の方々はびっくりしていた。時間もたっぷりあったので、さらに木枠を使って田植えを続けることができるように新しい印をつけ始めた。田んぼの泥にも慣れ、待ってましたばかりに再び黙々と田植えを始め、昼前には追加された田んぼも田植えを終えることができた。



天気は田植え日より！暑くもなく寒くもなく、雨もない。少しだけ、太陽がさんさんと照り始めた時間もあったものの、それほど日焼けするまでもなく、心地よく達成感を味わうことができた。

ひとつだけ、気になっていることがある。50年ぶりの試みであった木枠による田植えは、印が所々わかりにくく、なんとなく植えた箇所がいくつかあった。稲が育ち始めたら、

バラバラなのがはっきりわかるのではないか。近所で見るときれいに揃った稲を見て、そう思わずにはいられない。早く、バラつきがわからなくなるくらい、大きく育てほしい。

